

富山小学校だより

No. 10

当たり前前のことを当たり前前に

「当たり前」というのは、それほど素晴らしいことではないと思いますが、「当たり前前のことが当たり前前にできる」というのは、素晴らしいことだと思います。自分が今できていることを毎日続けていくことは、まさに、『継続は力なり』です。

また、人によって「当たり前」は違っていると思います。例えば、職人さんが何か物をつくっておられる時、スポーツ選手が自分の専門の運動をしておられる時、とても難しいことでも、いとも簡単そうにしておられます。とても難しいことでもその人にとっては、「当たり前」のことなのかもしれません。

子ども達に、「当たり前前のことを当たり前前に続けてほしい！」ということと、「当たり前前にできることを増やしてほしい！」という願いをこめて、2学期の始業式で、次のような話をしました。



【2学期の始業式での話】

(略) 長い夏休みに、健康や安全に気をつけて、今、元気で、学校に来ることができました。これだけでも、みんな100点満点です。今、私の話をきちんと聞いていることも、100点です。

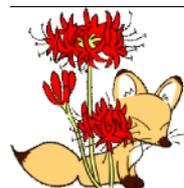
そして、夏休みの学習をきちんとしてきた人も100点です。家でお手伝いを頑張った人も100点、思い切り遊んだり運動をしたりした人も100点、本をたくさん読んだ人も100点、この他にもいろいろな100点があると思います。

「当たり前前のことが当たり前前にできること」は、100点満点です。

ここで、「当たり前」について、もう一つのお話をします。

それは、「当たり前」というのは、人によって違うということです。

例えば、私は、一輪車に乗れませんが、一輪車に乗っている人を見ると、どうしてあんな難しいことができるのだろうとってしまいます。でも、一輪車に乗っている人は、「当たり前」のように乗っています。(略)



このように、「当たり前」は人によって違います。大切なのは、「当たり前」にできることを、増やしていくことだと思います。

2学期は、いろいろな行事があります。いろいろな勉強もあります。今、みんなが「当たり前」にできていることを、「当たり前」に続けてください。

みんな、自信をもって2学期の出発をしましょう！

そして、「当たり前」にできることを、一つずつ増やしていきましょう。

みんなの2学期のがんばりを期待しています。

焼き物に挑戦

昨年度に続き、本年度も全校の子ども達が「焼き物」の体験に取り組みます。講師の先生は、今年度も、■■■■様、■■■■様、■■■■様の3名の方です。



9月6日(火)に、第1回目の活動として、粘土で形をつくりました。子ども達は図工の時間の粘土で物をつくる時と同じように、楽しく活動していました。私達職員もつくらせてもらいましたが、頭で考えていることと実際につくるのは、大きな違いがあるなと思いました。思ったような形にはならず、手が止まってしまうことがありました。

3名の講師の先生方に、丁寧に教えていただき、全員が粘土で形をつくることができました。翌日も、先生方が来校してくださり、作品の修正や仕上げをしてくださりました。

今後、素焼きをしてもらい、子ども達は、10月18日(火)に2回目の活動として、絵や字を描いたり釉薬をつけたりします。そして、それらを本焼きしてもらい、作品の完成となります。作品は、富山町文化祭に展示させていただきますので、ご覧になってください。



富山小ホームページ更新!



富山小学校に、ホームページがありますが、近年、更新をしておりませんでした。本校のホームページをご覧になって、以前と同じ内容で残念に思われた方があったかと思います。

9月に教頭が更新しましたので、ご覧になってください。ホームページアドレスは下記の通りですが、インターネットで「大田市立富山小学校」と入力して検索できます。

【富山小ホームページアドレス】 <http://www.iwamigin.jp/school/tomiya/>



【トップページ】

現在のところ、次の内容載せています。

- ◎ **学校だより**・・・本年度に発行したものです。ただし、個人名については大人も子どもも■■■■で隠しています。また、大きく写った個人の写真は載せないようにしています。(個人情報の保護のため)
- ◎ **校歌**・・・ピアノ伴奏と学校紹介が聴けます。
- ◎ **教育目標**
- ◎ **学校の沿革**
- ◎ **主要行事**(年間行事予定表)
- ◎ **校内研究**・・・「学校図書館活用教育」の研究について掲載しています。
- ◎ **今月の献立**(給食)

